

令和 5 年度

町政執行方針



天塩町

令和5年第2回天塩町議会定例会の開催にあたり、町政執行に臨む私の所信を申し上げます。

私は、町職員としての経験や町民の皆様との対話の中で、対話を重視した合意形成と政策立案の大切さを心に刻み、「対話・協働・調和でマチを一つに」をスローガンとしました。

町民の皆様との「対話」はマチづくりの原点であり、寄り添い、常に同じ目線であることが、必要な行政サービスを提供するための基本です。これからの未来、この基本なくしてマチづくりは実現しません。子どもからお年寄りまで笑顔あふれるマチへ、世代を越えて相手を思いやりながら暮らせるやさしいマチを目指し、町民の皆様、議員の皆様との信頼関係のもと、同じ方向を向きながら全力で取り組む所存です。

町民の皆様の暖かいご支援と期待を胸に、直面する課題の一つ一つに是々非々で対応し、協働のもとに未来を見据えた政策判断を行い、この4年間の町政を担う重責を務めてまいります。

政策方針につきましては、産業、福祉・医療、教育、地域、財政の「5本の柱」を重点政策として位置づけ、活力あるマチづくりを推進します。

主要な政策方針についてご説明申し上げます。

【第1の柱 産業】 産業の振興と後継者育成の推進

基幹産業であります農林水産業、商工業には、未来の「天塩」を担う若者の活気があふれています。産業において人づくりを進めることは、未来を築き、誰もがふるさとに住み続けたいと願う地域の実現、永続・発展に繋がることと存じます。皆様の一人一人の声を、衆知を結集して全産業の振興に取り組めます。

(1) 農業への支援体制の充実

足腰の強い農業経営を確立するため、草地の生産性確保のため、国や道との連携による基盤整備や生産施設の計画的な整備、労働負担の軽減を図るための農業ヘルパー制度の見直しを図ります。また、先進技術と優れた経営感覚を備えた担い手の育成や新規就農者の確保に向け、積極的な国への要望活動を行うとともに、今後も安全安心な牛乳と肉用牛生産を関係機関との連携を強化しながら推進します。

(2) しじみ資源の回復と漁業資源の活用推進

本町の特産品でありますしじみ貝は、最盛期と比べ大きく減少しており、資源の枯渇を防ぐため、関係機関の協力を得ながら、パンケ沼底質改善に継続して取り組み、しじみ資源の回復とパンケ沼の環境改善を図るとともに、豊富な漁業資源の活用と、たくましい漁業経営の展開を図る上で、後継者対策も含めた漁業経営の安定化を推進します。

(3) 商工業を核とした町内経済循環の促進

経営基盤の強化と魅力ある商店街づくりを目指し、各種制度などによる財政支援や商工会機能の充実に対する支援を推進します。また、特産品開発の推進と商品化技術の向上を促進するとともに、町内事業者の後継者対策や地域おこし協力隊制度の積極的な活用を図り、観光施設における官民連携を強化するなど、町内経済の好循環を促進します。

(4) 民有林の保全と林業振興

災害の抑制、二酸化炭素吸収による地球温暖化防止をはじめとした森林の公益的機能を十分に発揮できる森林づくりを

実施するため、森林環境譲与税の効果的な活用を図りながら、民有林の保全と振興を図ります。また、木や森との関わりを深め、学び、ふれあいの中で生まれる子ども達の豊かな心の醸成を推進します。

(5) 経営安定化のための国・道との連携

社会情勢が大きな変化を迎える中で、経営の安定化を図るためには、産業の担い手の「現場の声」を国・道へ届けることが最重要であることから、留萌管内、関係市町村と連携した積極的な要望活動を行います。

【第2の柱 福祉・医療】 医療の充実とお年寄りに優しいマチへ

お年寄りがいつまでもいきいきと住み慣れた地域で生活できるマチを目指すためには、「医療・介護」と「交通手段」の充実は欠かすことのできない施策です。医療・介護分野の人員不足は喫緊の課題であり、人材の育成・確保策について検討を進めながら、マチの将来を担う人材の充実を図ります。また、交通手段につきましても、皆様が利用しやすい環境となりますよう交通体系・サービス充実を図ります。

(1) 常勤医師の複数配置と医療スタッフの安定確保

町内唯一の医療機関であります天塩町立国民健康保険病院におきましては、平成30年1月以降、常勤医は整形外科医1名体制で運営しております。過疎地域における医療の確保は、大変厳しい状況ではありますが、関係機関との連携を図りながら現診療体制を維持していくとともに、内科医など医師の複数配置と医療スタッフの安定確保に最大限努めてまいります。

(2) 介護職員及びホームヘルパー人材の育成と充実

高齢者の要介護等認定者は全国的に増加しており、本町においても年々増加傾向にあります。また、介護サービス基盤の整備に伴って、その担い手の確保が必要となっている中、介護現場では人手不足が深刻であり、介護従事者の確保・定着に向けた総合的な取り組みを実施するため、関係機関との連携を強化し、介護職員やホームヘルパー人材等の育成と充実を図ります。

(3) 町民が利用しやすい交通手段の確保

生活移動の確保は、住みよいまちづくりに欠かすことのできない施策です。地域間移動におきましては、地域間幹線交通へのアクセスを検討しながら幹線系統の維持確保を推進します。また、町内移動におきましては、(仮称)町民パスポートの導入など、ハイヤー運賃助成券制度等の見直しを行い、町民が利用しやすい交通支援策となるよう推進します。

【第3の柱 教育】 子どもの笑顔があふれるまちへ

雄大な自然の中で地域と共に育ち、笑顔あふれる子どもはまちの宝であり、新しい時代を切り拓き、まちを、社会をリードする人材です。子ども達の教育、子育て環境の整備に地域一体となって取り組むことは、「世代を越えて相手を思いやりながら暮らせるやさしいまち」への第一歩であることから、子ども達の笑顔があふれ、健やかに成長できる環境整備を推進します。

(1) 学校給食費の無償化

学校給食は、児童と生徒の健やかな心身の発達と食育にお

ける重要な役割を果たしていることから、食育の推進と子育て支援の充実を目的として、町内小中学校の給食費無償化を実施します。

(2) 子どもたちの遊び場・遊具の整備

マチの緑豊かな公園施設は、子どもの健やかな発達や人と人とのふれあい交流に不可欠な場所です。遊具を設置することで公園施設の充実を図り、子どもの遊び場、子育て世代の交流の場を創設します。

(3) 天塩高等学校存続のための近隣との連携強化

地域と高校が協働して教育の充実に取り組むことは、地域の子ども達の「生きる力」の育成に不可欠です。地域学習を通じて地域の理解を深め、対話の中で主体的に学び、考え、行動することができる「将来を支える人材」の育成に、近隣の町や地域との協働、連携強化を図り取り組みます。

【第4の柱 地域】 安全・安心・快適なマチづくりの推進

1970年代以降、多くの公共施設整備が行われてきまし

たが、人口減少に伴いマチの人口は当時の半分以下となり、加えて公共施設の老朽化も進んでいます。リノベーションや施設集約など、改修費用を抑えながら長寿命化を図るとともに、各世代や利用者との話し合いを重視し、人口規模に応じた施設の再構築を進めます。また、高齢化が進む中、豪雪地域における安心・快適な日常生活のため、除排雪のサービス向上に努めてまいります。

(1) お年寄りに優しい除雪体制の整備

豪雪地域において、お年寄りが季節に捉われず、住み慣れた地域で生活するためには、除排雪体制の充実は欠かせません。現行の除雪体制や排雪回数の見直しを行い、地域に優しい除雪体制の整備を図ります。

(2) 人口規模に応じた施設の再編

公共施設等の老朽化とともに人口減少も進行しており、人口規模に応じた公共施設等のあり方について、利用者の声を聴きながら検討を進めます。また、消防支署などの防災拠点となる施設について、引き続き耐震化を進めます。

(3) 施設機能強化と雄信内地域の振興

雄信内生活改善センターなどの公共施設を対象とした施設再編を検討し、雄信内地区への避難施設機能を備えた施設整備の構想を図ります。

【第5の柱 財政】 自主財源の積極的な確保

政策予算の確保のためには、ふるさと納税の推進と積極的なプロモーションが必要です。組織の機構改革や地場産業との連携を強化することで、ふるさと納税返礼品の充実を図るとともに、将来的に5億円の寄附額を目指します。また、ふるさと納税返礼品事業を核とし、地域の雇用と経済の好循環を見据えた産業振興を推進します。

以上の政策方針を踏まえ、1年目となります本年度の主な施策としまして、将来財政負担の軽減を目的とした産業廃棄物最終処分場の再開や住宅リフォーム支援制度及び空き家解体撤去費補助制度の導入、学校給食費の無償化やカーボンニュートラル実現に向けた取組など、対話と検討を重ねながらスピード感をもって進めてまいります。

次に、一般会計補正予算歳出につきまして、政策予算の概要を目的別経費ごとにご説明申し上げます。

総務費では、住宅リフォーム支援事業補助金や空き家解体撤去費補助金などの増により2,154万1千円の増額、民生費では、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業や除排雪サービス事業補助金などの増により2,024万6千円の増額、衛生費では、病院事業特別会計繰出金や産業廃棄物最終処分場管理経費などの増により1,622万円の増額、農林水産業費では、パンケ沼底質改善事業、酪農ヘルパー事業、豊かな森づくり推進事業など、各種補助金の増などにより4,467万9千円の増額、商工費では、物価高騰支援対策商品券発行事業や観光協会事業補助金の増などにより3,715万2千円の増額、土木費では、長寿命化計画に基づく改修事業の増などにより1億1,382万2千円の増額、教育費では、学校給食費無償化事業や天塩高等学校振興会補助金の増などにより3,627万円の増額としております。

一般会計歳入歳出予算の総額をそれぞれ2億8,994万9千円増額し、一般会計総額で50億1,700万円といたしました次第であります。

近年の新型コロナウイルス感染症の蔓延や、ウクライナ情勢による物価高騰など、従来の少子高齢化や人口減少問題に加え、社会情勢は大きな変化を向かえ、私たちの暮らしは厳しさを増しています。この困難を乗り越えるためには、マチ全体が一致団結し、直面する諸課題を私たち皆で解決していく仕組みづくりが重要です。

声を聴き、共に考え、マチが持つ可能性・潜在力を最大限引き出す「調和のマチづくり」と、その主役となる「未来を担う人材の育成」に注力し、マチの発展に誠心誠意尽力することをお誓い申し上げます。

結びに、町民の皆様をはじめ、議員の皆様のなご一層のご理解とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

令和5年6月19日

天塩町長 吉田 忠